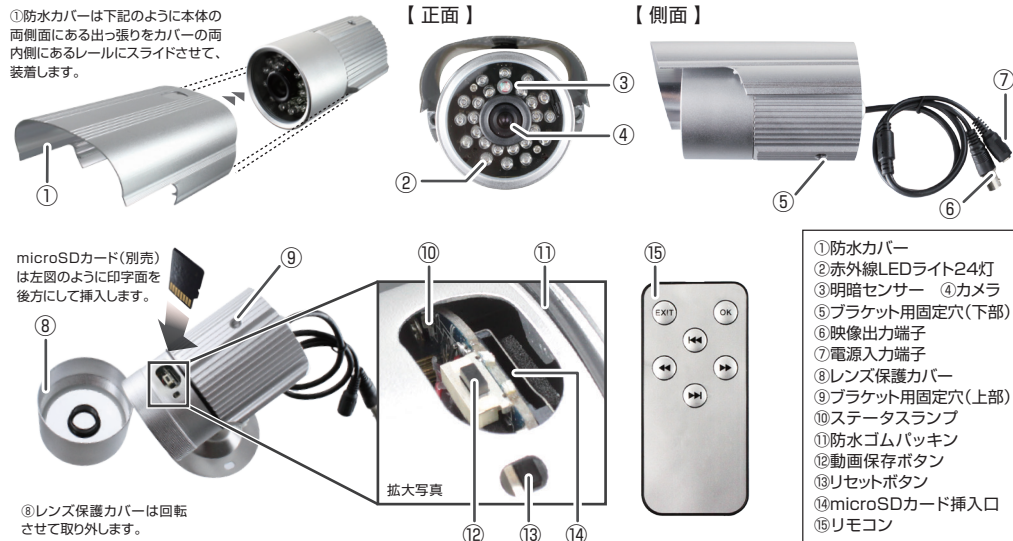


赤外線LED搭載 録画機能付 防犯カメラ

製品取扱説明書

①防水カバーは下記のように本体の両側面にある出っ張りをカバーの両内側にあるレールにスライドさせて、装着します。

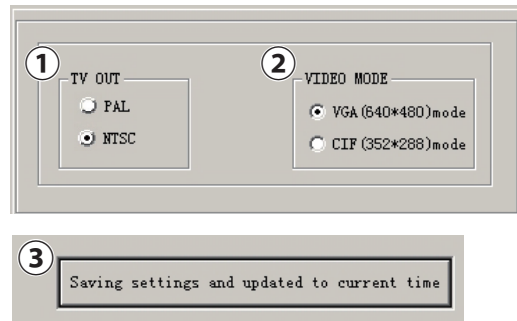


固定ブラケット 本体取付方法



1 microSDカードの準備(録画サイズ、日時の設定)

- はじめにカメラに使用するmicroSDカード(別売)をパソコンに認識させます。
- 公式サポートページから「設定ツール」をダウンロードし、その中にある「UserSet.exe」を実行します。
- ソフトを立ち上げると下記画面が表示されます。



①モニター(テレビなど)への外部出力の形式を設定します。
※日本では「NTSC」を推奨します。

②録画サイズの設定になります。
VGA (640×480px)形式とCIF (352×288px)形式の2つから選択します。

③上記2つの設定が完了したら、こちらのボタンをクリックします。
自動的に認識させていたmicroSDカードが取り外し可能状態になります。
取り外したmicroSDカードを本体に挿入すると、上記2つの設定および日時の設定が反映されます。
※取り外したmicroSDカードに「UserNumber.txt」テキストが作成されていると、日時の設定が成功したということになります。

2 電源

- はじめに⑧レンズ保護カバーを開け、⑩microSDカード挿入口にmicroSDカード(別売)を挿入します。
- 電源を入れるには⑦電源入力端子にACアダプタを接続し、コンセントに差し込みます。⑩ステータスランプの赤青ランプが約5秒点灯したのち、青ランプが点滅を開始。同時に録画が開始されます。録画中は常に青ランプが点滅します。
- ※microSDカードが未挿入、または破損していたり、正しく挿入されていない場合は⑩ステータスランプの青ランプ点灯、赤ランプ点滅の状態になり、正常に動作しません。

3 録画

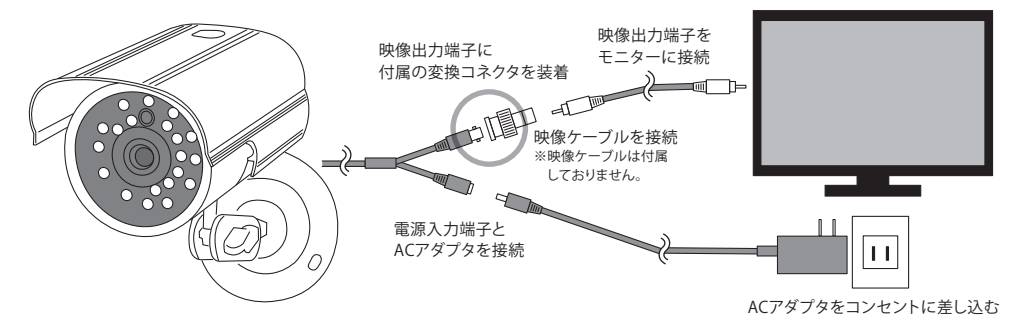
- 正しく電源が入ると自動で⑩ステータスランプの青ランプが点滅を開始し、同時に録画が開始されます。(前項「2 電源」参照)
- 録画データは一定時間ごとに1ファイル保存されます。
- 録画中に⑫動画保存ボタンおよびリモコンをカメラに向け「EXIT」もしくは「OK」ボタンを押すと、⑩ステータスランプの赤青ランプが約20秒点灯し、録画を停止し、動画が記録されます。その後、すぐに⑩ステータスランプの青ランプが点滅を始め、自動で録画が開始されます。
- 録画中に動体センサーが動く被写体を検知すると動画のフレーム数を上げて録画します。
動体センサーが作動していない時はフレーム数を下げて録画します。
- ※フレーム数(fps)とは動画の滑らかさを表す数値です。数値が高いほど滑らかな動画になります。(動体検知なし:~3fps / 動体検知あり:~12fps)
- ※本製品は繰り返し録画機能により、microSDカードのメモリが一杯になると古いデータから順に上書き録画されます。

4 赤外線機能

- 一定以下の明るさになると、③明暗センサーにより自動で②赤外線LEDライト24灯が赤く点灯し、赤外線録画モードになります。
- ※赤外線モードではモノクロ映像での録画となります。

5 外部出力機能<コンボジット接続>

- 本製品の⑥映像出力端子に付属の変換コネクタを装着し、モニター(TVまたはアナログAV対応のパソコン)側の映像入力端子と映像ケーブル(別売)で接続します。TVの場合はモニター側の入力切替等でAV入力などの外部入力に切り替えます。リアルタイムの録画中映像が映し出されます。パソコンの場合はご使用のパソコンに適合したキャプチャーソフトにて再生します。(ソフトがない場合は別途インストールの必要があります。)
- ※音声の出力はできません。
- ビデオやHDD等のレコーダーに繋がれば、録画することもできます。



本製品は外部出力時に専用のリモコンで操作が行えます。リモコン操作の詳しい説明は裏面にて▶

⚠ 使用上のご注意

Ver.06

- 製品や製品箱のデザインは予告なく変更される事があります。●プライバシーの侵害・迷-感防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。●輸入品につき、製品箱等にキズ/汚れがある場合がございます。●本製品は録画を目的としたもので、音声につきましては多少聞き取りづらくております。予めご了承ください。●本製品が作動しない場合は、microSDカードの挿入およびACアダプタが電源入力端子に接続されており、コンセントに差し込まれているかを確認してください。●設置が不十分ですと落下等の危険がありますので、本製品の設置は確実に行ってください。●取付後、本製品がしっかりと固定されていて脱落しないことを必ず確認してください。●破損・振動・衝撃等のおそれのある場所でのご使用はおやめください。●ベンジンやシンナー等では拭かないでください。●分解や改造をしないでください。

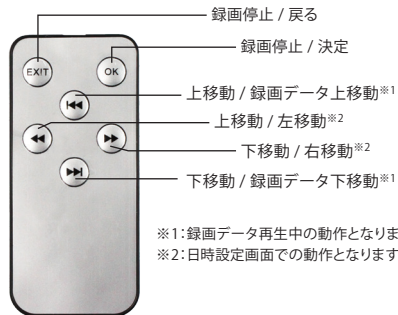


注意・警告 本製品は完全防水ではございません。屋外等の雨がかりのある場所で使用される場合は、**microSDカード挿入口などの記録装置内蔵部およびプラグ等の接続部に防水処理を行う**必要があります。尚、記録装置内蔵部および接続部への浸水等によるショートや火災等の事故についての一切の責任を負い兼ねます。

6 リモコン操作

本製品はモニタリング(前項「5 外部出力機能」参照)しながら、専用のリモコンで録画データの再生や日時の設定などが行えます。

■リモコン操作ボタン説明



※1:録画データ再生中の動作となります。
※2:日時設定画面での動作となります。

■リモコン操作環境について

リモコンで操作を行う際はカメラ本体の正面とリモコン上部(指示電波送信部)が向かい合うようにしてください。
尚、リモコンの指示電波の本体受信可能距離は本体とリモコンの間に壁や障害物のない状態で約3mとなります。

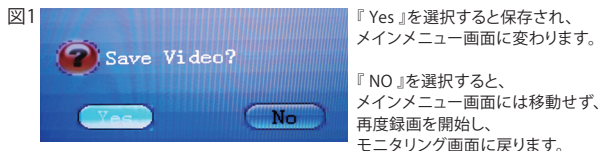


1)メニュー画面切替方法

はじめに、リモコンで操作を行う際は外部出力(前項「5 外部出力機能」参照)でモニターに映し出されているリアルタイムの映像画面から、メインメニュー画面に移動する必要があります。以下の手順で操作メインメニュー画面に移動します。

■リモコンの『OK』ボタンを押すと、自動で直前に録画していたデータを保存し、メインメニュー画面に移動します。

■リモコンの『EXIT』ボタンを押すと、直前に録画していたデータの保存の有無を選択するの図1のような画面が表示されます。



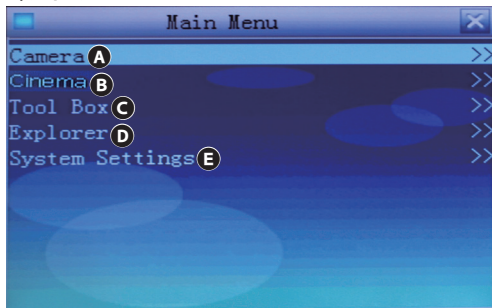
『Yes』を選択すると保存され、メインメニュー画面に変わります。

『No』を選択すると、メインメニュー画面には移動せず、再度録画を開始し、モニタリング画面に戻ります。



※メインメニュー画面でしばらく操作がないと自動で録画画面に切り替わります。
※リモコン操作中は録画停止となります。

2)メインメニュー



■A Camera:カメラ録画機能

選択すると録画を開始。同時に画面が録画中の映像に切り替わります。

■B Cinema:録画データ再生機能

選択すると図2のようにmicroSDカードに記録された録画データのリストが表示されます。見たいデータを選択して再生することができます。

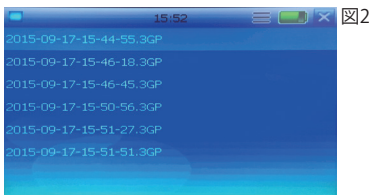


図2

■C Tool Box:PC camera mode

こちらは未対応となっております。ご了承ください。

■D Explorer:microSDカード内のデータ閲覧機能

microSDカード内に保存されているデータを閲覧することができます。操作内容はB Cinema同様に録画データの再生となります。

■E System Settings:システム設定

選択すると図3のような画面が表示されます。使用言語(中国語 or 英語)の選択と日時の設定・変更が行えます。

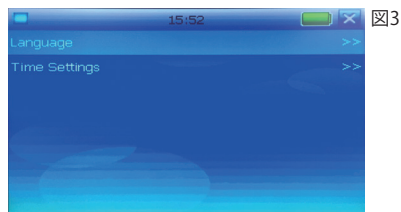


図3

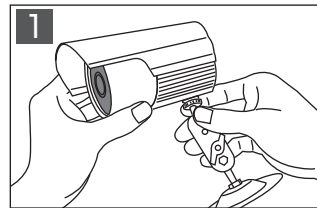


「Time Settings」を選択すると、時間、日付の変更・設定画面になり、それぞれ設定が行えます。
※「Date Format」は変更できません。

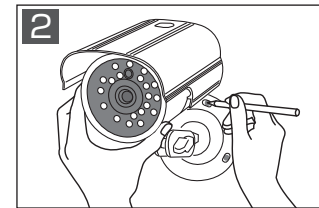
7 取付方法

■予め、取付予定位置で設置できることをご確認の上、取付作業を行ってください。

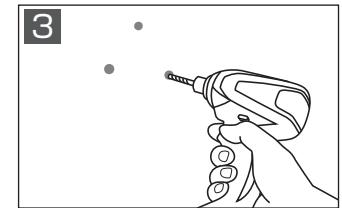
■設置する際、壁の強度や周辺の状況等、危険がないか十分に確かめ、本品が落下しないようにしっかりと固定してください。



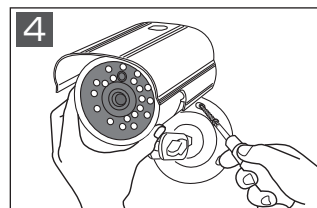
固定ブラケットを本体に取付ます。



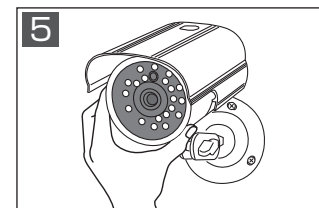
設置する場所に固定ブラケットをあてネジ穴の位置にペンなどで印をつけます。



印をつけたネジ穴の位置にドリルなどで約φ2mm程度の下穴を開けます。



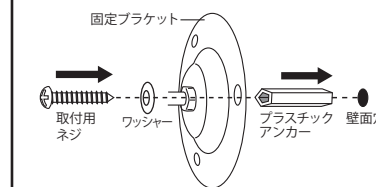
取付金具を付属の取付用ネジで、しっかりと固定します。



カメラ向きや固定ブラケットの角度などを調整して設置完了です。



■プラスチックアンカーの使用法



- ①ドリル等で壁にφ5.5mm程度の穴を開けます。
- ②プラスチックアンカーを差し込みます。
- ③取付用ネジで壁面に固定します。

ブロック・レンガ・コンクリート壁などに設置する場合は、コンクリートドリル等で壁に穴を開けます。その後、付属のプラスチックアンカーを差し込み取付金具を取付用ネジでしっかりと固定してください。
※プラスチックアンカーを差し込む時に接着剤の併用をおすすめします。